

セントは、1オクターブの1200分の1の音程。1オクターブが1200セントと定義されている。よって平均律の場合、半音は100セント、全音はその2倍の200セントとなる。

1. 平均律： 半音が均等な割合で分割された音律。
2. 純正律： 自然倍音を用いて作った音律。
3. ピタゴラス音律： 純正五度を積み上げた音程を基本とする音律

音程	ピタゴラス	平均律	純正律
1度	0	0	0
増1度	114	100	96
短2度	90	100	133
長2度	204	200	182 or 204
増2度	318	300	275
短3度	294	300	316
長3度	408	400	386
減4度	384	400	427
増3度	522	500	461
完全4度	498	500	498
増4度	612	600	569
減5度	588	600	631
完全5度	702	700	702
増5度	816	800	773
短6度	792	800	814
長6度	906	900	884
増6度	1020	1000	955
短7度	996	1000	969
長7度	1110	1100	1088
減8度	1086	1100	1129
増7度	1223	1200	1159
8度	1200	1200	1200

3つの音律を比べてみると、完全音程は大差ないが、特に長3度、長6度、長7度、そして増4度、増5度、増2度、増3度、減4度が、かなり乖離していることに気づく。

和声と、旋律では、音程の心地よさは、少し違い、

和声では、純正律が相応しく、旋律ではピタゴラス音律が相応しい。